

厚生文教常任委員会会議録

- 1 日 時 令和6年1月12日（金）
11時35分開会 12時27分閉会
- 2 会議場所 役場3階 第1委員会室
- 3 出席議員 委員長：川上 均 副委員長：橋本晃明
委 員：山本奈央、桜井崇裕、佐藤幸一、西山輝和
議 長：山下清美（欠席）
- 4 事務局 事務局長：大尾 智、事務局次長：川口二郎
- 5 議 件
(1) 議会報告会と町民との意見交換会のまとめについて
(2) その他
- 6 会議録 別紙のとおり

【開会 11 : 35】

(1) 議会報告会と町民との意見交換会のまとめについて

委員長 (川上 均) : 只今より厚生文教常任委員会を開催する。最初に議件として、先程全員協議会で話があった議会報告会と町民との意見交換会のまとめについてである。今後の進め方の確認をしたいと思うが、出された意見等を振り分けしていきたいと思うが、それについて確認をさせていただく、そういう方向でよいか。

(「はい」との声あり)

委員長 : それでは、続いて、検討、参考、承りの区分及びコメントの作成をしていきたいと思う。

【厚生文教常任委員会での検討結果】

項目	コメント	取り扱い
町内会は現状でいいのか(町内会に入会していない人への広報配布をどうするのか。)	今後の検討課題として活動の参考とする	参考
町内会の加入率	今後の検討課題として活動の参考とする	参考
(町内会で)できる人ができない人のサポートをしている(広報はコンビニでもらう、ゴミ出しについても)	今後の検討課題として活動の参考とする	参考
(物流)2024問題~求人はあるが人が来ない。勤務状況の変化(運転手確保)	本町にとっても注視していきたい。	参考
役場窓口のDX導入~書かない窓口の導入(例:北見市)	本町にとっても注視していきたい。	参考
生活安全パトロールについて、なり手がいない。	今後の検討課題として活動の参考とする	参考
子育て世帯に対して、住みやすいまちづくりと生活支援	今後の検討課題として活動の参考とする	参考
老人福祉センターに遊ぶところがあり、小さい子供たちが来ておりいいと思う。		承り
御影小・中について、体育館の雨漏りがある。予算がないと言われるがどうにかならないか。	確認して検討する	検討
介助員不足	今後の検討課題として活動の参考とする	参考
高齢者の集まりや団体活動に相互協力を	今後の検討課題として活動の参考とする	参考

(2) その他

委員長 : 以上、参考が多かったが検討結果として議運に報告していきたいと思う。続いて、その他の部分であるが、道外研修について、できれば当初予算に組み込んで欲しいというこ

となので、25日までの予定であるが、そこまでに決めたのでは遅いので、できれば今日決めていきたいと思うが、前回、山本委員からは大和市でおひとり様の終活の関係が出されていた。その他、給食での農業との連携協定の関係と、茨城県のCO2の活用との関係ということで出されていた。西山委員と橋本委員からは渋沢栄一関連についてどうかということで出ている。その他皆さんの方から何かあれば出していただきたいと思うが、私の方で引きこもりの関係で、秋田県の藤里町というところで、藤里方式という引きこもりの支援の関係で取り組みがされている。ただ、内容が町というよりは社会福祉協議会が全面的に取り組んでいるような感じなので、どうかというのはあるけれども、その辺りのようにやっていくかということも含めて、私の方からは引きこもりの問題は難しいと思うが、そういう対応をしているところがあるということなので、参考として研修してみたいと思って一応出させてもらう。他に皆さんの方から何かあれば。

西山委員：私としては深谷市に行って、深谷市の色々な教育や福祉などあると思うので、あまり移動しないで、深谷市で全部終わるような形で進めていった方がいいのではないかと思います。

委員長：深谷市で全て終わらすということでどうかということが出されたが、ただ、本来市で取り組む内容についてはなかなか町村の規模としてはどうしても合わないの、あまり参考にならないというのが現状だと思う。もちろん中身にもよるけれども。そういう部分を検討していただきたいと思う。具体的な中身が伴わないと難しいと思う。他に皆さんの方から何かあれば。

山本委員：総務産業の方はどこに行くかはまだ決まっていないのだろうか。

委員長：まだ決まっていない、一応、徳島県という話はしていたみたいだが、まだ確認はしていない。大和市の終活支援、お一人様の関係というのは、終活支援事業ということでいいか、生前、自分の亡くなった後のことも含めた終活支援ということでよろしいか。その他に給食の関係、具体的には泉大津市。

山本委員：泉大津市というところが旭川市と連携して、旭川のお米を定期的を買うということと連携しているの、もし取れなかったりした場合に優先的に食料の協定を結んでいるので、食べ物に困らないと、そして作る側も安心して作れるのでいいという協定を結んでいるということなので、旭川だけではなくて他の関東の農村地帯など、色々なところと連携して安心して食べられる給食を提供しているようである。

委員長：厚生文教常任委員会としてだから、合同で行って何か見つけるかどうか、それとも先ほど出ていた内容でどうするかということになると思うけれども、終活支援事業については色々ところで確かに取り組みもあるが、特に大和市がいいという部分があったら教えて欲しい。

山本委員：すごいこだわりがあるわけではないので、深谷市に行くのであれば深谷市がどうしているのかとか、近場で取り組みしているところを探して行ってもいいのではないかと思います。大和市にこだわりがあるわけではなくて、終活などの話でどこか参考になる町があればいいと思う。

委員長：どうするか、絞るか、それとも決まらないので絞っていくなら大和市、秋田県藤里町ということで、全国的にも先進的な取り組みである。ただ主体が社会福祉協議会なので、町とどれぐらいの関わりを持っているかわからない。町に視察に行くと、そこに社会福祉協議会の人に来てもらって説明を受けて、町とどのような連携を取りながら、当然町も連携取りながらやらないと引きこもりについては対応取れないと思うので、そういう部分では参考にはなると思うが。大和市とよければ藤里町の2つ、ちょっと離れているけれども、秋田寄って新幹線乗って、皆さん良ければその2点に絞ってどうか。

桜井委員：合同も含めて委員長、副委員長で検討してもらえれば。

委員長：桜井委員から合同も含めて委員長、副委員長で検討してほしいということであるが、そういう方向でよろしいか。

（「はい」との声あり）

委員長：それではそのような方向で検討する。続いて3番目であるが、その他として所管事務調査である。3月定例会までにやらなければならないということで、今回の調査項目については、学童保育所の現状と課題についてということで決定しているので、それについて今後検討していきたいと思うが、時期的に特に事務局の方から何かあるか。

事務局長（大尾 智）：特にないけれども、学童の現状と課題ということなので、まず、学童の現場だけでよいのか、それとも、まず説明いただいて現場見るという形、現場だけよりも説明があった方がいいのでは。

委員長：説明も欲しい。事前勉強をした方がいいと思う。学童についての前もっての事前勉強である。そして、その後説明を受けて、それで、できれば現状の学童保育所を見てもどうしようもないので、今後小学校に移るということなので、小学校を見せてもらおうと、そしてどのような形で予定されているのかを、現実にはどのような改装を含めて対応する予定なのかを聞き取りするという形で進めた方がいいと思うが、皆さんの方から何かご意見あれば。

桜井委員：御影も学童あるが。

委員長：今回、学童ということでは、新たに清水が今度場所が変更なるので、その観点から見るということで。

桜井委員：今回はそういう観点で見ると、特に御影の現状と問題点はいいのか。

委員長：見るのであれば、また別の日にちになると思う。その辺皆さんどのように考えているか、両方見るのかどうかというのも含めて。

西山委員：清水の使っている学童は見なくていいのか。

委員長：いいと思う。今どうのこうの言っても仕方ないので、あくまでも新しく、見るとしたら小学校の方を見るということでいいと私は思う。

橋本委員：御影の方は特に問題はないのか。

委員長：それは調査してみないとわからない。御影も見るかどうか。

山本委員：問題あるとは聞いたことはないし、子ども達は楽しく遊んでいるというのは聞いているけれども、もし御影の学童に通っているお子さんたちの環境と、これからできる清水の学童の環境を比べるのであれば、両方見た方がいいと思うけれども、新しいところの設置だけに重きを置くのであれば、清水だけでもいいと思うがどうか。

委員長：町全体の学童に対する考え方と考えれば、やはり御影も見た方がいいと思うが。午前中午後通してであれば可能だと思う。では、両方見るということではよろしいか。

（「はい」との声あり）

委員長：時間等は今後事務局の方と詰めていきたいと思う。日程的な部分は事務局と協議させていただいて、今言ったような形で進めたいと思うがよろしいか。

(「はい」との声あり)

委員長：それでは、そのような形で進める。その他皆さんの方から特になければ、次回いつにするかも含めて事務局と協議して、皆さんの方にお知らせしたいと思う。それでは、これをもって本日の厚生文教常任委員会を終了する。

【閉会 12:27】